

河内町新庁舎建設基本計画（案）に関する町民説明会概要報告

◆開催概要◆

- 【１】日 時：令和６年１２月１５日（日）１４時００分開会 ～ １５時３０分閉会
- 【２】場 所：河内町 農村環境改善センター 多目的ホール
- 【３】参加者：２２名
- 【４】内 容：（１）河内町新庁舎基本計画（案）の概要について
（２）質疑

◆質疑応答概要◆

参加者	新庁舎延床面積算出で、国の基準を参考にしたとのことだが、どのような数値を入れてその結果になったのか聞かせていただきたい。
都市整備課	新庁舎の延床面積を検討する際に参考とする計算方式として、主に総務省と国土交通省の２種類の基準があります。算出にあたっては、現在の職員数を考慮し、新庁舎に入る人数を約１２０人と想定した結果、総務省方式では約３４００㎡、国交省方式では約２，５００㎡となり、その平均をとって約２，９００㎡程度としています。ただし、実際の延床面積については、今後の基本設計及び実施設計等の段階で、必要な面積等を算出することとなります。
参加者	１．防災拠点はどこにつくる予定か。 ２．（株）オオバの業務実績として類似した事例はあるか。 ３．新庁舎はなぜ３階建てなのか。平屋でいいのではないか。 ４．地質調査は実施済みか。 ５．現庁舎エリアの想定浸水深はどれくらいか。 ６．事業費の試算が約３７億円とのことだが、実際にこの金額で済むのか。 以上の６件の質問について聞かせていただきたい。
都市整備課	１について、防災拠点として、災害対策本部については新庁舎建物内に設置します。浸水対策として、２階以上の上層階への設置となる予定です。
（株）オオバ	２について、具体名は挙げかねるが、主に関東圏内において基本計画段階の業務を複数行っています。
都市整備課	３について、利根川氾濫時の水害対策として、災害対策本部等の機能維持が目的です。 ４について、地盤調査については、今後基本設計等と併せて実施予定です。 ５について、国交省算出の最大想定浸水深は１．７ｍです。浸水への対応については、盛土も含め、１階部分の防水壁や止水板と組み合わせて、今後の設計段階において詳細に検討します。 ６について、工事単価等が上昇するのではというご懸念かと思いますが、現時点での建設単価と伸び率等をもとに、中長期的に試算しています。今後の設計段階においても積算をしながら事業を進めて参ります。

参加者	現庁舎敷地面積の 1.3 倍となる約 12,300m ² は、具体的にどの程度のイメージか。
都市整備課	資料 8 ページの図 A. 現庁舎案において、現本庁舎が建つ敷地の町有地と駐車場等の借地を合わせて、約 9,430m ² となります。不足分の約 2,870m ² については、隣接する民有地等を取得し、必要な敷地面積を確保する予定です。今後の用地取得状況に応じて面積は変わる可能性があるため、現計画段階での数値とご理解いただきたいと思います。
参加者	事業費約 37 億の財源はどのように確保するのか。
企画財政課	庁舎建設に係る国や県の補助金はほとんどなく、基本的には基金と地方債の活用となります。基金については、財政シミュレーションを行っており令和 9 年度末までに 10 億円の積立を想定しています。不足分については地方債を活用する予定です。
参加者	町の中心部に位置する中央公民館エリアに建てていただきたい。場所はもう現庁舎の位置で決定したということですか。
都市整備課	新庁舎の建設位置の検討経緯について、昨年までの検討委員会において 5 つの建設候補地が検討され、令和 5 年 8 月に町長への答申で、A. 現庁舎案と B. 中央公民館南側案の 2 ヶ所が候補地として選定されました。令和 6 年度基本計画策定にあたり、約 2,000 人を対象とした町民アンケート調査を行っており、建設位置について重視することとして「安全性」「経済性」が多く挙がりました。A. 現庁舎案は利根川からの距離が長く、他の公共施設と離れているため災害時のリスクが低いと考えられ、B. 中央公民館南側案では主要道路等のアクセスに伴う周辺環境整備費が必要になります。また、B. 中央公民館南側案は必要敷地面積の不足面積が広く、用地取得に係る事業への影響が想定されます。以上の点を考慮し、基本計画案においては A. 現庁舎案を選定しています。
参加者	用地買収費について、概算事業費に含まれていますか。
都市整備課	用地の取得費については、11 ページの基本計画（試算）⑤備品等、関連費用、用地取得費の約 1.6 億円に含まれています。
参加者	浸水深 1.7m への浸水対策は、盛土のみで行うのか。
都市整備課	基本計画の中では、盛土のみではなく、防水壁や止水板等と組み合わせる方針としています。今後の設計段階で、盛土のみで対応できるのか又は防水壁や止水板等の対応が必要かを踏まえ、適切な盛土高さの算定等の詳細を検討していきます。
参加者	ここ数年で町に建設された施設では、浸水対策がなされているようには見受けられなかったと感じます。新庁舎建設にあたっては、浸水対策をしっかりと行い防災拠点としての機能維持をお願いしたい。また、そのための基本設計の発注方式についても検討いただきたい。
都市整備課	地震や水害等の災害時においても、行政機能を維持し、災害対策本部として対応できるよう検討していきます。また今後の基本設計等の事業手法につきましても引き続き検討していきます。

参加者	十三間戸地区から久しぶりに中央公民館に来たら、中央公民館の建替えが行われている。中央公民館には十三間戸の方からも含め多くの人が避難すると狭くなるのではないかと思います、新庁舎だけでなく、中央公民館も立派に建てた方がよいのではないかと。
都市整備課	中央公民館は建替え工事を行っているところですが、避難所を主として建てているわけではありません。十三間戸の場合は、つつみ会館や旧金江津小学校・中学校が避難場所であり、全員が中央公民館まで避難するわけではないと思います。今回の新庁舎基本計画の内容とは関係ないと思われますが、いただいたご意見は担当課にお話しさせていただきます。